

# 2006年3月期 決算説明会

2006年3月期 業績の概況

キョーリンググループの取り組み

主要製品・開発品の状況

2006年5月17日

株式会社キョーリン

代表取締役社長 荻原郁夫



# 2006年3月期 決算概観(連結)



売上面では、国内新医薬品が堅調に推移し、新規事業として東洋ファルマー、ドクタープログラムを連結対象としたことから、連結売上高は741億円(前年比11.7%増)となりました。

利益面では、売上は78億円増加、売上原価率が前年比1.6ポイント上昇、販管費率は研究開発費の減少に伴い4.8ポイント低下した結果、営業利益は90億円(前年比53.2%増)、当期純利益は52億円(前年比159.7%増)となりました。

来期の連結業績予想は、売上では国内新医薬品は薬価改定の影響はあるものの、前年を上回るものと予想しておりますが、海外新医薬品は前年を大幅に下回る見込みです。新規事業(東洋ファルマー、ドクタープログラム)は業績が12ヶ月間フル寄与することから前年を上回る見込みです。その結果、連結売上高756億円(前年比2.1%増)を見込みます。利益面は連結営業利益57億円(前年比36.6%減)、連結当期純利益35億円(前年比33.1%減)を見込みます。

単位: (百万円)	03年3月期	04年3月期	05年3月期	06年3月期	前年比	連単倍率	07年3月期 (見込み)	前年比
売上高	68,618	65,061	66,296	74,054	11.7%	1.10	75,600	2.1%
営業利益	12,367	8,766	5,866	8,989	53.2%	1.02	5,700	▲36.6%
経常利益	12,805	8,597	6,430	9,465	47.2%	1.13	6,400	▲32.4%
当期純利益	4,120	5,692	2,013	5,228	159.7%	1.10	3,500	▲33.1%
EPS	47.21円	68.76円	26.48円	69.74円	163.4%	1.10		—
総資産	139,961	121,355	109,234	121,044	10.8%	1.08	—	—
株主資本	105,318	91,856	90,544	94,752	4.6%	1.02	—	—

\* 2006年3月期決算概観(連結)は杏林製薬の数値、2007年3月期業績の見込みは株式会社キョーリンの数値を示す

# 2006年3月期 業績の状況(連結)



単位:億円

	05年 3月期 (実績)	06年 3月期 (実績)	増減 (実績)
売上高 合計	663	741	+78
◆新医薬品	613	643	+30
国内	525	557	+32
海外	88	86	▲ 2
◆後発 医薬品	3	35	+32
◆ヘルスケア	33	50	+17
◆その他	14	12	▲ 2
営業利益	59	90	+31
経常利益	64	95	+31
当期純利益	20	52	+32

売上高	741億円		対前年 (+78)
国内新医薬品	557億円		(+32)
		05.3実績	06.3実績
・キプレス		118	134 (+16)
・ムコダイン		190	199 (+9)
・ペンタサ		64	73 (+9)
海外新医薬品	86億円		(2)
・ガチフロキサシン		80	67 (-13)
*ティン米国販売の不振			
後発医薬品	35億円		(+32)
*東洋ファルマの子会社化(連結対象期間8ヶ月)			
ヘルスケア	50億円		(+17)
・ミルトン		23	21 (-2)
*東洋ファルマ(一般用他)、ドクター・オブ・ザ・ラムの寄与(連結対象期間7ヶ月)			(+20)
その他	12億円		(2)
原価率:前年比	1.6ポイント増加	(34.2%	35.8%)
*上昇要因:	東洋ファルマの子会社化		
*低下要因:	杏林製薬の国内販売が好調		
研究開発費率:前年比	5.6ポイント減少	(19.2%	13.6%)
*127億円	101億円(約26億円減少)		
販管費率(除R&D費):前年比	0.6ポイント上昇	(37.8%	38.4%)
*国内新医薬品売上UPに伴う販売費の増加、一般経費の増加			
営業利益	90億円		(+31)
*営業利益率は12.1%と3.3ポイント上昇			
当期純利益	52億円		(+32)
配当	30円00銭	配当性向	43.0%
【杏林製薬中間期配当+(株)キョーリン期末配当】			

# 2007年3月期 業績の見込み

単位:億円

	06年 3月期 (実績)	07年 3月期 (見込み)	増減
売上高 合計	741	756	+15
◆新医薬品	643	614	▲29
国内	557	564	+7
海外	86	49	▲37
◆後発 医薬品	35	60	+25
◆ヘルスケア	50	68	+18
◆その他	12	14	+2
営業利益	90	57	▲33
経常利益	95	64	▲31
当期純利益	52	35	▲17

売上高	756億円		対前年 (+15)
国内新医薬品	564億円		(+7)
	06.3実績	07.3見込み	
・キプレス	134	142	(+8)
・ムコサイン	199	209	(+10)
*薬価改定(当社改定率6.3%、業界平均6.7%)の影響はあるものの数量ベース約9%の増加を目指す			
*リトスについては年度内上市を見込むものの、売上見込みには含んでいない			
海外新医薬品	49億円		(-37)
・ガチフロキサシン	67	25	(-42)
*リイ(BMS)の販売中止方針の決定			
後発医薬品	60億円		(+25)
*東洋ファルマのル寄与			
ヘルスケア	68億円		(+18)
・ミルトン	21	22	(+1)
*ドクタープログラムの成長とル寄与			
その他	14億円		(+2)
原価率...約4ポイント上昇			
*原価率上昇要因; 能代工場減価償却費の増加			
研究開発費率...13.6% 13.5%; 0.1ポイント低下			
*研究開発費; 101億円 102億円(1億円増)			
販管費率(除R&D費)...約1ポイント上昇			
*上昇要因; 杏林製薬の販管費削減(約5億円)に取り組むも、売上減少に伴い、販管費率(除R&D費)は上昇			
営業利益	57億円		(-33)
*営業利益率: 7.5%と4.6ポイント低下			
当期純利益	35億円		(-17)
配当	20円00銭	配当性向	42.3% (見込み)

# キョーリンMIC-'09計画

(2005年度～2009年度)

目指す企業像:

『創薬ビジネスをコアとし、信頼をベースとした  
特色ある複合ヘルスケア企業』を旨指して

基本方針:「進化と創造Ⅱ」

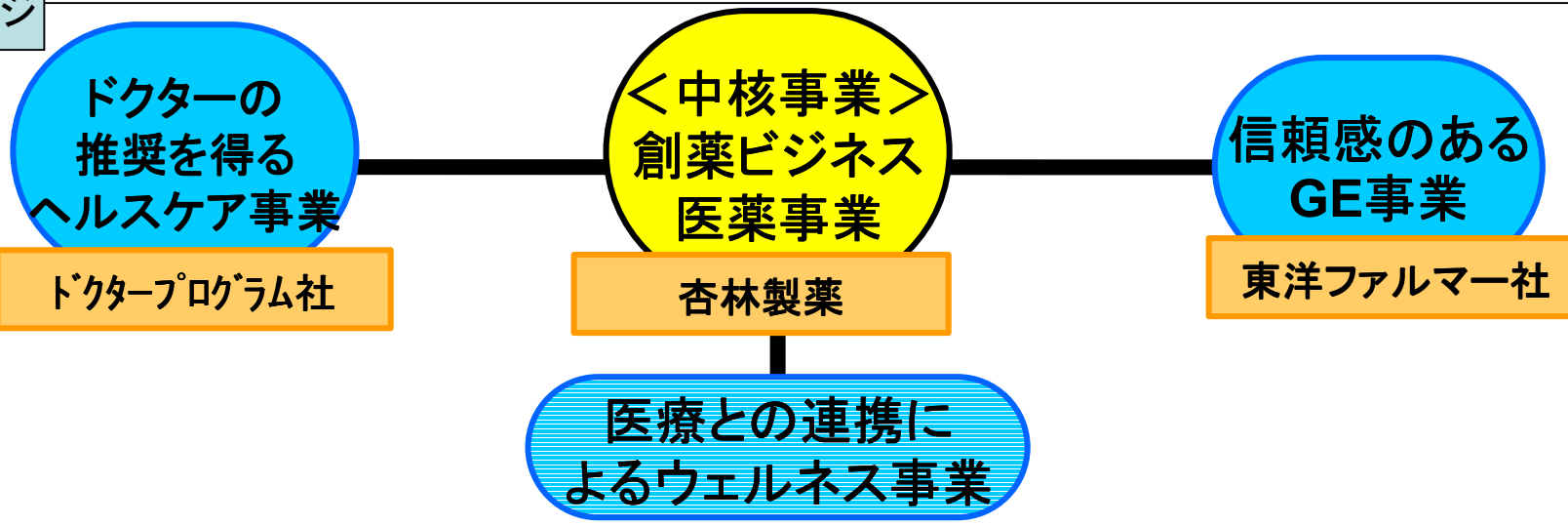
# キョーリンMIC - '09計画の完達(1)



## 持株会社制への移行

キョーリンMIC - '09計画で掲げる目指す企業像：  
「グローバルな創薬ビジネスをコアとし、信頼をベースとした特色ある複合ヘルスケア企業」

事業イメージ



ステップ1：  
株式交換（06年3月10日）

ステップ2：  
業態別子会社の再編（06年10月1日）

株式会社キョーリン

創薬ビジネス・医薬事業  
杏林製薬

GE医薬品事業  
東洋ファルマー

ヘルスケア事業  
ドクタープログラム

新規事業領域育成  
ビストナー

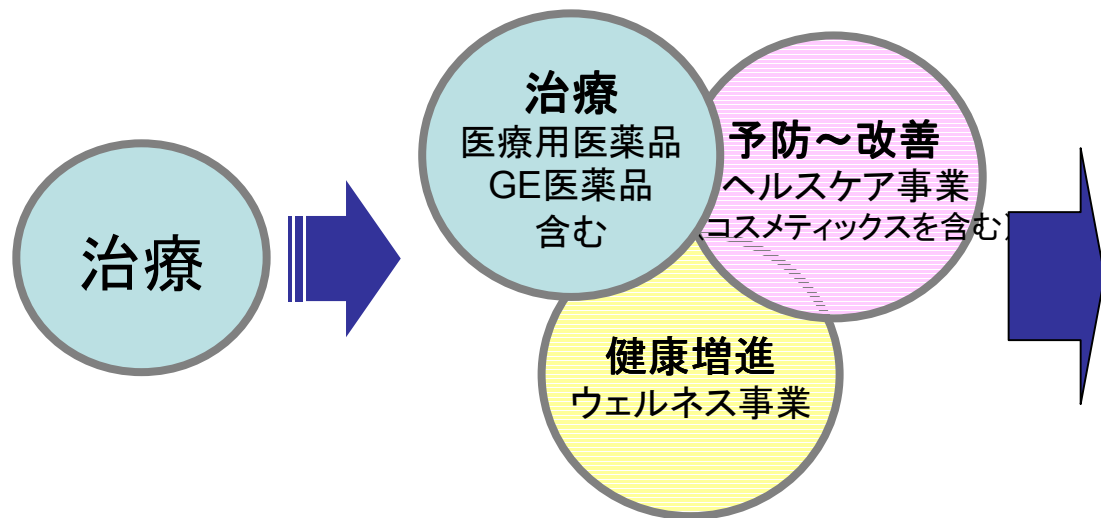
シェアード  
サービス事業  
杏文堂

# キョーリンMIC - ' 0 9 計画の完達 ( 2 )

## キョーリンコーポレートブランドの再構築



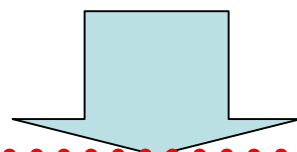
<従来の健康の概念>      <キョーリンMIC09計画の健康の概念>



～ ブランドシンボルに込められた思い ～

新しいブランドが約束する「笑顔のある社会」のイメージ、その実現に向かって「のびのびと勇気をもって行動」するキョーリンの意志と社外から「信頼され、期待感をもって」見られたいという希望をデザインしました

### キョーリンブランドの活用



### ブランド重視の経営

創薬ビジネス・医薬事業  
杏林製薬

GE医薬品事業  
東洋ファルマー

ヘルスケア事業  
ドクタープログラム

新規事業領域育成  
ビストナー

シェアード  
サービス事業  
杏文堂

グループ社員一人ひとりの意識改革・行動改革により企業力の向上を図る

# キョーリンM I C - ' 0 9 計画の完達 ( 3 )

## 基本戦略への取り組み

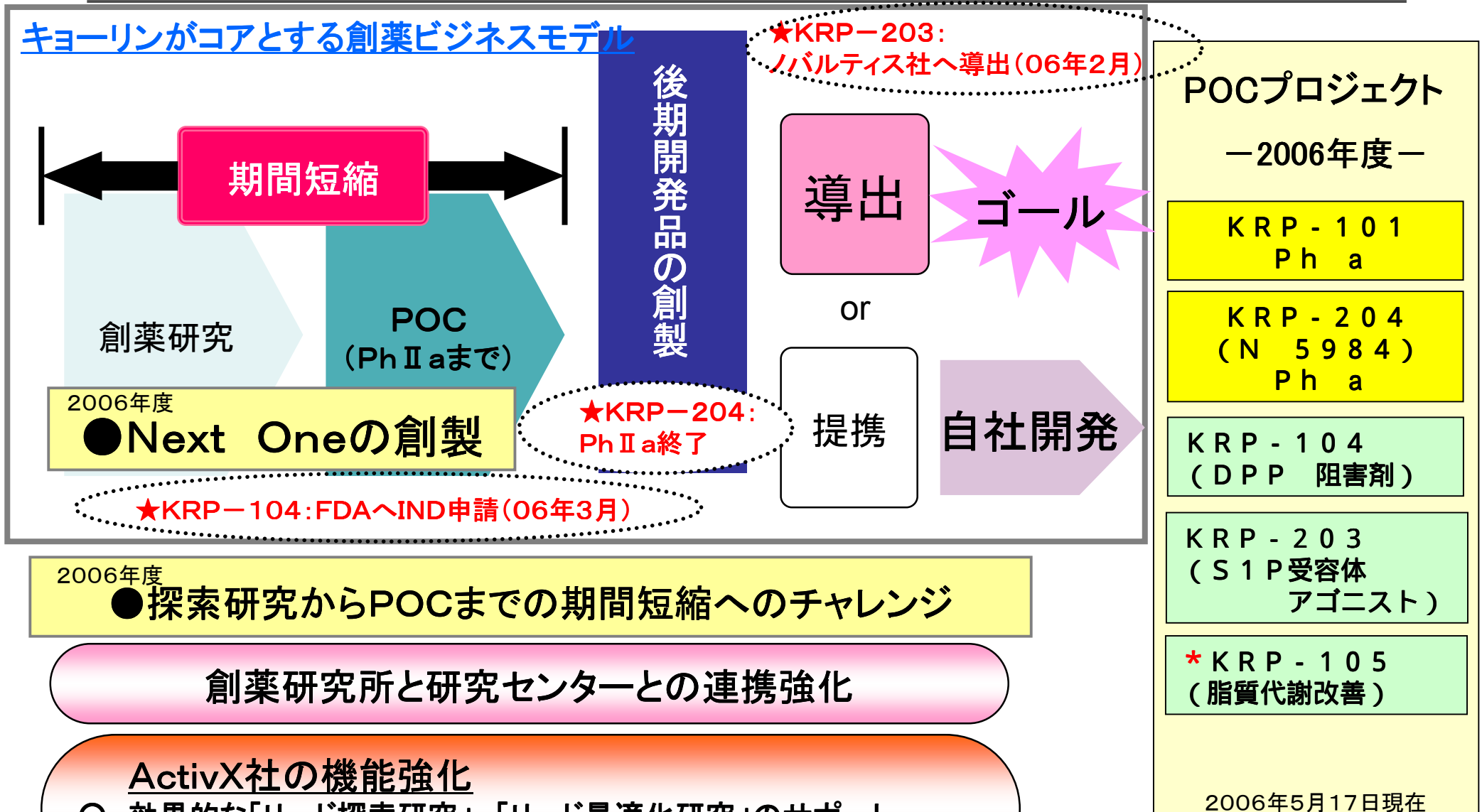


### 基本戦略:

1. グローバル創薬企業としてのポジショニングの確立
2. 創薬投資を支える医薬事業の競争力強化
3. 医薬事業に次ぐ、将来を担う新規事業の構築



# グローバル創薬企業としてのポジショニングの確立



\* 今回より追加

# 創薬投資を支える医薬事業の競争力強化

## 長期的関係強化のための継続した営業資源の投入

### FC戦略の推進

- 定期訪問の継続 (面談率100%、処方率100%)
- FC3科への施策投入(市民公開講座等の実施)
- 重点注力製品のライフサイクルプログラムへの取り組み  
(キプレス、ムコダイン、ガチフロ、ケタス)

### 卸店政策の強化



営業力の着実な向上

### ★国内新医薬品数量前同比(他社向け、一時金除く)

	04年度	05年度	06年度(見込み)
前同比	+約9%	+約5%	+約9%

注)03年度薬価を基準として、各年度の数量前同比を算定した

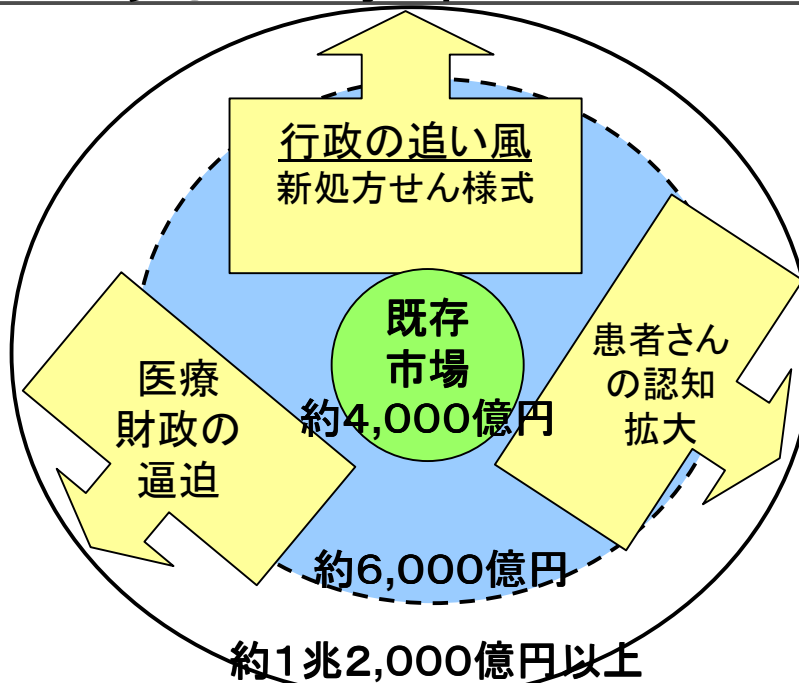
薬価ダウン分を上回る既存品の売上拡大と新薬上市の成功を図る

# 医薬事業に次ぐ、将来を担う新規事業の構築

## ①信頼感のあるGE事業

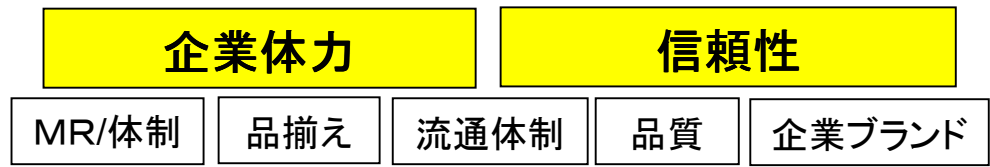
### ●GE市場の予測

最大 1兆2,000億円以上  
⇒長期収載品の殆どが  
GEに置き換わると想定  
現状ベース 6,000億円  
⇒現状のマーケットの  
伸長率5~10%が継続



**障壁**: 外資の参入、全規格収載、安定供給(5年以上)等

### ●選ばれるGE企業の条件



★キョーリンググループとして、社会のニーズに応え、  
信頼されるジェネリック事業を目指し、BEST5に入る

# 東洋ファルマー社：業績と今後の対応

単位：億円	05年5月期 (実績)	06年1月期 (実績：8ヶ月分)	07年1月期 (見込み)		10年1月期 (目標値)
売上高	65	44	72		100
営業利益	0	3	2		10
当期純利益	△1	2	1		—

事業強化期：体制の構築

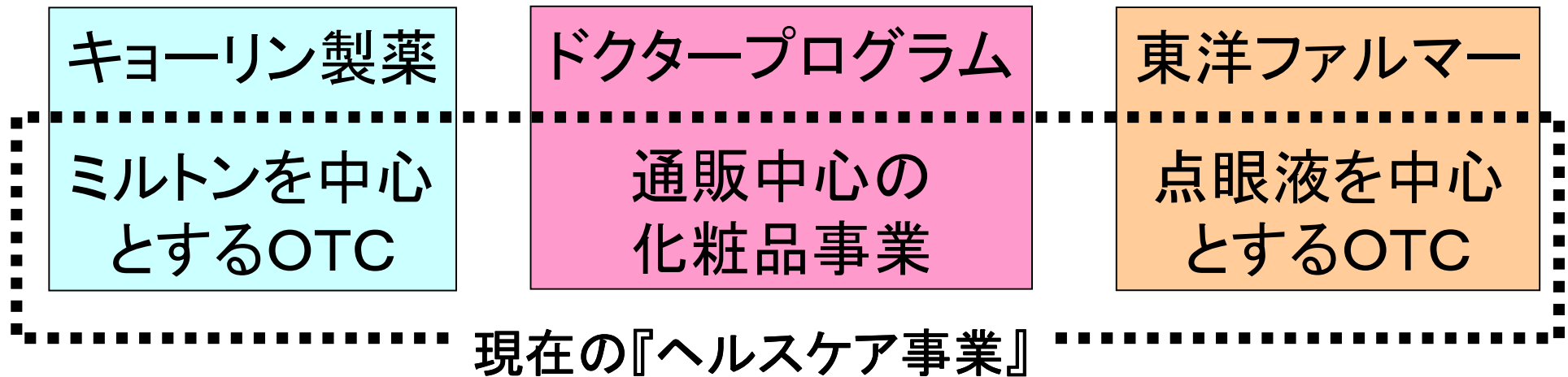
成長期：事業育成

	06年1月期	07年1月期		2010年1月期
信頼性のある GE事業実現のために	<p><b>販売ネットワークの確立</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●卸ルートの整備 ●MR全国配置(約30名から約70名へ)</li> <li>●キョーリンMRのバックアップ(1次対応)</li> </ul> <p><b>研究開発力の向上</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●信頼性の高い追補品収載 * 重点領域の検討</li> <li>●キョーリン製薬R&amp;D部隊との連携</li> </ul> <p><b>生産性の向上(原価率低減)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●キョーリン製薬製品の受託(20品目以上目標)</li> <li>●不採算品目カット(約430品目を約250品目)</li> </ul>			
—販売支援				
—R&D支援				
—生産効率化				

更なる規模の拡大を検討

# 医薬事業に次ぐ、将来を担う新規事業の構築

## ②ドクターの推奨を得るヘルスケア事業



ドクタープログラムの成長促進と  
それぞれの事業のシナジーを追求

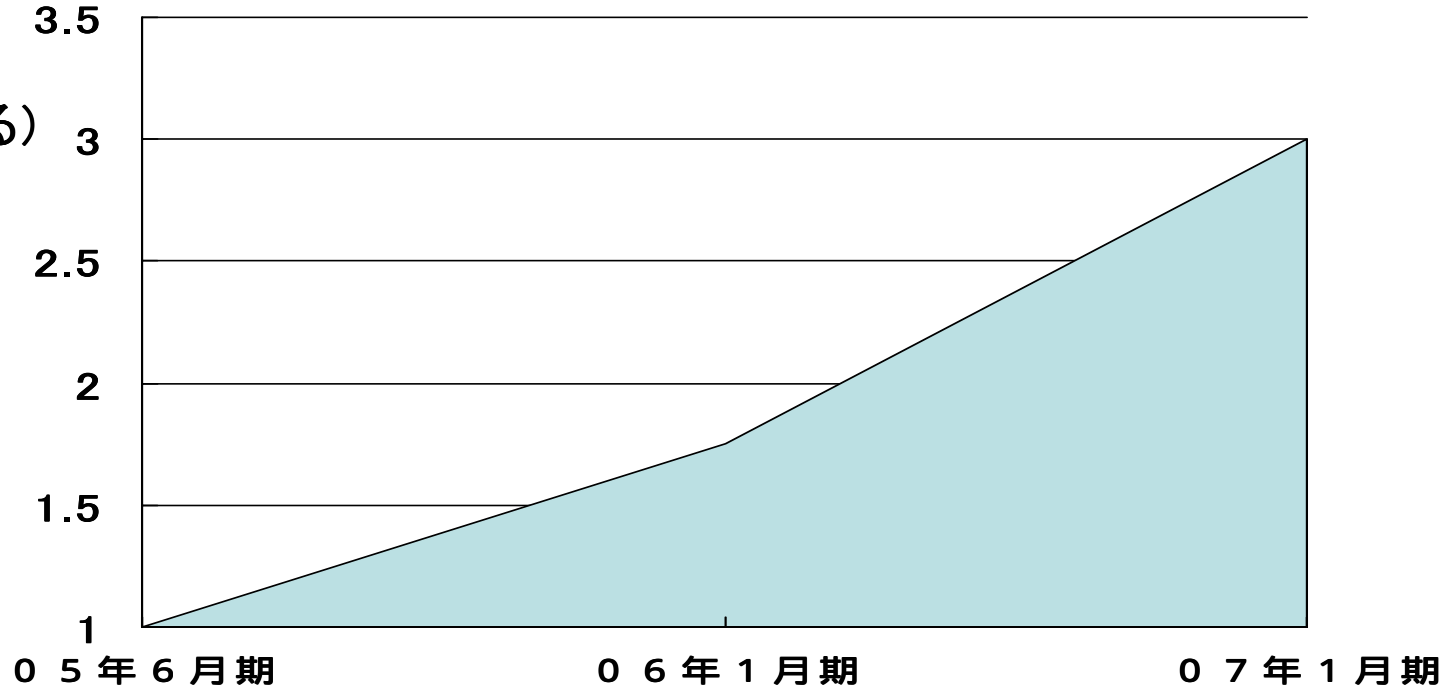
# ドクタープログラム：製薬系化粧品としてのブランド強化

単位：億円	05年6月期	06年1月期 (8ヶ月分)	07年1月期 (見込み)	10年1月期 (見込み)
売上高	5	8	21	50
営業利益	0	0	1	営業利益率 10%以上



- キョーリンブランド活用 ⇒ 新規顧客名簿の増加
- 自社研究開発センター設立による安定的な新商品開発力向上 ⇒ 商品アイテム数の拡充

見込み顧客指数  
(05年6月期を1とする)



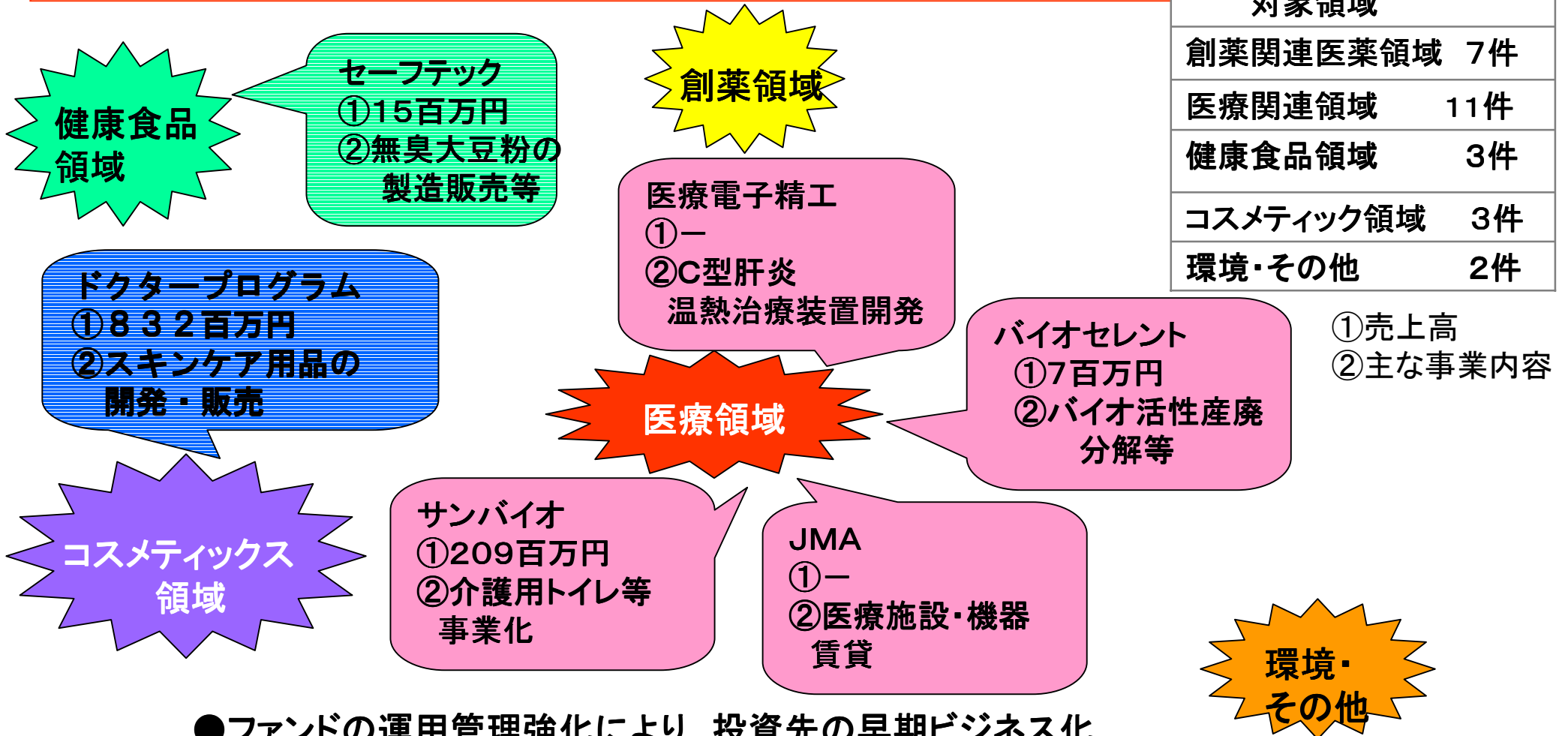
# 株式会社ビストナー

# ビストナー事業ファンドの状況

・設立 2000年9月  
・出資額 50億円(既出資額 40億円 既投資先26件、投資額 26億円)

## 対象領域

創薬関連医薬領域	7件
医療関連領域	11件
健康食品領域	3件
コスメティック領域	3件
環境・その他	2件



- ファンドの運用管理強化により、投資先の早期ビジネス化
- ヘルスケア・ウェルネス領域を中心とした投資領域の選択



# キョーリン製薬： 主要開発品の状況

# 開発品一覧 (2006年5月15日現在)

## 申請中

\* : 前回(06年3月期第3四半期)からの変更点を示す

開発段階		製品名・ 開発コード	薬効	起源	特徴	備考
国内	海外					
申請 (04年10月)	Ph I	ウリス KRP-197 (錠)	過活動膀胱 治療薬	自社	抗コリン作用が強く、口渇等の副作用軽減が期待される	海外:LGLS社とライセンス 契約 国内:小野薬品工業と共同 開発・共同販売(予定)
申請 (04年7月)	(メルク社 発売中)	キプレス細粒 4mg モンテルカスト	気管支喘息 治療剤	メルク社	小児(1歳~5歳)用の新規製剤	○ 剤形追加 ○ 新用量 ・万有製薬と共同開発
申請 (05年8月)	(メルク社 発売中)	キプレス錠 モンテルカスト	気管支喘息 治療剤	メルク社	成人:アレルギー性鼻炎 1日1回投与で、LTD4の遮断による鼻炎症状 (鼻閉、鼻漏、くしゃみ)の改善と共に、眠気などの 副作用軽減が期待できる	○ 効能追加 ・万有製薬と共同開発

# 開発品一覧

(2006年5月15日現在)



## POCプロジェクト及びPh II ~ III

\*: 前回(06年3月期第3四半期)からの変更点を示す

開発段階		製品名・ 開発コード	薬効	起源	特徴	備考
国内	海外					
Ph III (04年1月)	(ガルデルマ社 発売中)	ペキロン ネイルラッカー	爪白癬治療剤	自社	日本初のネイルラッカー製剤	マルホと共同開発
Ph II / III (05年10月)	(メルク社 Ph III)	モンテルカスト (注射剤)	気管支喘息 治療剤	メルク社	成人: 気管支喘息 剤形追加(注射剤)	・万有製薬と共同開発
	Ph II (04年10月)	KRP-204 (N-5984) (錠)	抗肥満剤	日清製粉	選択性の高いβ3受容体作動薬。 従来のβ3作動薬に比べて心への影響が少なく、肥満を改善することが期待される	日清製粉グループ 日清ファルマと共同開発
Ph II (05年3月)	(大日本住友 Ph III)	AS-3201 (錠)	糖尿病合併症 治療剤	大日本 住友製薬	アルドース還元酵素を強力に阻害することにより細胞内のソルビトール蓄積を抑制し、糖尿病性神経障害を改善する	大日本住友製薬と 共同開発(国内のみ)
	Ph II (04年6月)	KRP-101 (錠)	脂質代謝改善/ 糖尿病治療剤	自社	PPARαのagonist。中性脂肪等脂質代謝改善作用に加えて、糖尿病に対する有効性が期待される	新たなPh II aを準備中
	* Ph I (05年3月)	KRP-104	糖尿病	自社	DPPIV阻害剤。インスリン分泌ホルモンの分解を抑えることにより血糖低下作用を示す。副作用の発現が少ない糖尿病治療が期待される	
	Ph I 準備中	KRP-203	臓器移植、 自己免疫疾患	自社	S1P受容体アゴニスト。新規メカニズムを有する免疫抑制剤。既存の免疫抑制剤に比べて安全性が高く、かつ優れた併用効果が期待される	ノバルティス社とライセンス契約*
	前臨床	* KRP-105	脂質代謝改善	自社	選択性の高いPPARα agonist。KRP-101よりもさらにPPARα受容体に対して選択性が高い。脂質改善作用に加え、アディポネクチンの増加、レプチンの減少、体重増加抑制作用などが動物実験で確認されており、新たな脂質改善剤として期待される	

# 開発品一覧

(2006年5月15日現在)



## 導出品の状況

\*: 前回(06年3月期第3四半期)からの変更点を示す

製品名・開発コード	導出先・共同研究先	開発段階	薬効	起源	備考
未定	米国 メルク社	—	合成抗菌剤	自社 米国メルク社	・共同研究 ・独占的ライセンスに関する契約締結(04年7月)
アルファガン/ アルファガンP	千寿製薬	* 国内Ph II (06年4月)	緑内障治療薬	米国 アラガン社	・アラガン社より導入 (ガチフロキサシン点眼液のクロスライセンス) ・千寿製薬に導出(04年5月)
ケタス	米国 メディシノバ社	海外Ph II (05年8月)	脳血管障害治療薬	自社	・多発性硬化症の適応での日本、中国、韓国、 台湾を除く全世界における独占的な開発、製造 販売権を供与(04年10月)
KCA-757	米国 メディシノバ社	海外Ph II (気管支喘息: 05年1月) (間質性膀胱炎: 05年5月)	気管支喘息 治療薬 間質性膀胱炎 治療薬	自社	・日本、中国、韓国、台湾を除く全世界における 独占的な開発、販売権を供与
* KRP-203	スイス ノバルティス社	海外Ph I 準備中	臓器移植、 自己免疫疾患	自社	・移植用の免疫抑制剤として、全世界の開発及び 販売権、自己免疫疾患及びその他の疾患用剤 として、日本、中国、韓国、台湾を除く全世界の 開発及び販売権(なお、炎症性腸疾患用剤とし ては、全世界の権利を留保している)を供与 (06年2月)

# 2006年3月期 決算概要

## 財務諸表の概況

# 損益計算書の概要：連結①



(単位:百万円)

	05年3月期		06年3月期			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	前年増減額
売上高	66,296	100.0%	74,054	100.0%	11.7%	7,757
新医薬品	61,308	92.5%	64,281	86.8%	4.8%	2,973
国内	52,470	79.1%	55,705	75.2%	6.2%	3,235
海外	8,838	13.3%	8,575	11.6%	▲3.0%	▲263
後発医薬品	349	0.5%	3,488	4.7%	897.1%	3,138
ヘルスケア	3,280	4.9%	5,035	6.8%	53.5%	1,755
その他	1,357	2.0%	1,248	1.7%	▲8.0%	▲109

## < 適応範囲及び持分法の適用について >

連結子会社8社：(株)杏文堂 (株)ピストナー  
 ピストナー番号投資事業有限責任組合  
 Kyorin USA, Inc Kyorin Europe GmbH  
 ActivX Biosciences, Inc.  
 東洋ファルマー(株)  
 ドクタープログラム(株)  
 持分法適応会社2社：日清キョーリン製薬(株)  
 日本理化学薬品(株)

## < 当期のポイント >

## 対前年

売上高 74,054百万円 (+7,757百万円)

国内新医薬品 55,705百万円 (+3,235百万円)

05.3実績 06.3実績(億円)

・キプレス 118 134(+16)

・ムコダイン 190 199(+9)

・ペンタサ 64 73(+9)

海外新医薬品 8,575百万円 (263百万円)

・ガチフロ 80 67(-13)

\* テクイン米国販売の不振

後発医薬品 3,488百万円 (+3,138百万円)

\* 東洋ファルマーの子会社化  
 (連結対象期間8ヶ月)

ヘルスケア 5,035百万円 (+1,755百万円)

・ミルトン 23 21(-2)

\* 東洋ファルマー(一般用他)、  
 ドクタープログラムの寄与  
 (連結対象期間7ヶ月) (+20)

その他 1,248百万円 (109百万円)

# 損益計算書の概要：連結一②

(単位：百万円)

	05年3月期		06年3月期			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	前年増減額
売上高	66,296	100.0%	74,054	100.0%	11.7%	7,757
売上原価	22,682	34.2%	26,515	35.8%	16.9%	3,833
売上総利益	43,614	65.8%	47,538	64.2%	9.0%	3,924
販売費及び一般管理費 (うち研究費)	37,747 (12,698)	57.0% 19.2%	38,549 (10,107)	52.1% 13.6%	2.1% (▲20.4%)	801 (▲2,591)
営業利益	5,866	8.8%	8,989	12.1%	53.2%	3,123
営業外収益	818	1.3%	863	1.2%	5.4%	44
営業外費用	254	0.4%	387	0.5%	52.0%	132
経常利益	6,430	9.7%	9,465	12.8%	47.2%	3,035
特別利益	1,847	2.8%	260	0.3%	▲85.9%	▲1,587
特別損失	4,266	6.4%	1,259	1.7%	▲70.5%	▲3,006
税金等調整前 当期純利益	4,012	6.1%	8,466	11.4%	111.0%	4,454
法人税・住民税 及び事業税	147	0.2%	2,539	3.4%	1626.4%	2,392
法人税等調整額	1,851	2.8%	653	0.9%	▲64.7%	▲1,198
当期純利益	2,013	3.1%	5,228	7.1%	159.7%	3,215

## < 当期のポイント >

原価率：前年比 1.6ポイント増加  
(34.2% 35.8%)

\* 上昇要因：東洋ファルマの子会社化  
\* 低下要因：杏林製薬の国内販売が好調  
研究開発費率：前年比 5.6ポイント減少  
(19.2% 13.6%)

\* 127億円 101億円 (約26億円減少)  
販管費率(除R&D費)：前年比 0.6ポイント上昇  
(37.8% 38.4%)

\* 国内新医薬品売上UPに伴う販売費の増加、  
一般経費の増加  
営業利益 8,989百万円  
(+3,123百万円)

\* 営業利益率は12.1%と3.3ポイント上昇  
当期純利益 5,228百万円  
(+3,215百万円)

配当 30円00銭 配当性向 43.0%  
【杏林製薬中間期配当+(株)キョーリン期末配当】

# 損益計算書の概要：杏林製薬単体①

(単位：百万円)

	05年3月期		06年3月期			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	前年増減額
売上高	64,938	100.0%	67,357	100.0%	3.7%	2,418
新医薬品	61,308	94.4%	64,036	95.1%	4.4%	2,728
国内	52,470	80.8%	55,705	82.7%	6.2%	3,235
海外	8,838	13.6%	8,331	12.4%	▲5.7%	▲507
後発医薬品	349	0.5%	351	0.5%	0.3%	2
ヘルスケア	3,280	5.1%	2,969	4.4%	▲9.5%	▲311

## < 当期のポイント >

	05.3実績	06.3実績(億円)
売上高	67,357百万円	(+2,418百万円)
国内新医薬品	64,036百万円	(+2,728百万円)
・キプレス	118	134(+16)
・ムコダイン	190	199(+9)
・ペンタサ	64	73(+9)
海外新医薬品	8,331百万円	(507百万円)
・ガチフロ	80	67(-13)
* テクイン米国販売の不振		
後発医薬品	351百万円	(+2百万円)
ヘルスケア	2,969百万円	(311百万円)
・ミルトン	23	21(-2)



# 損益計算書の概要：杏林製薬単体②



(単位：百万円)

	05年3月期		06年3月期			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	前年増減額
売上高	64,938	100.0%	67,357	100.0%	3.7%	2,418
売上原価	21,653	33.3%	21,821	32.4%	0.8%	167
売上総利益	43,285	66.7%	45,536	67.6%	5.2%	2,251
販売費及び一般管理費 (うち研究費)	37,373 (12,698)	57.6% 19.6%	36,762 (10,013)	54.6% 14.9%	▲1.6% (▲21.1%)	▲611 (▲2,685)
営業利益	5,911	9.1%	8,773	13.0%	48.4%	2,862
営業外収益	502	0.8%	570	0.8%	13.6%	68
営業外費用	689	1.1%	966	1.4%	40.2%	277
経常利益	5,723	8.8%	8,377	12.4%	46.4%	2,653
特別利益	1,792	2.8%	194	0.3%	▲89.1%	▲1,597
特別損失	3,975	6.1%	787	1.2%	▲80.2%	▲3,187
税引前当期純利益	3,540	5.5%	7,784	11.5%	119.9%	4,243
法人税・住民税 及び事業税	75	0.1%	2,462	3.7%	3,180.6%	2,387
法人税等調整額	1,850	2.8%	550	0.8%	▲70.2%	▲1,299
当期純利益	1,615	2.5%	4,771	7.0%	195.4%	3,155

## < 当期のポイント >

原価率：前年比 0.9ポイント低下  
(33.3% 32.4%)

\* 低下要因：杏林製薬の国内販売が好調

研究開発費率：前年比 4.7ポイント減少  
(19.6% 14.9%)

\* 127億円 100億円 (約27億円減少)

販管費率(除R&D費)：前年比 1.7ポイント上昇  
(38.0% 39.7%)

\* 国内新医薬品売上UPに伴う販売費の増加、  
一般経費の増加

営業利益 8,773百万円  
(+2,862百万円)

\* 営業利益率は13.0%と3.9ポイント上昇

当期純利益 4,771百万円  
(+3,155百万円)

# 貸借対照表の概要：連結

(単位：百万円)

	05年3月期		06年3月期		
	実績	構成比	実績	構成比	前期末増減
<b>流動資産</b>	<b>51,782</b>	<b>47.4%</b>	<b>59,416</b>	<b>49.1%</b>	<b>7,633</b>
現金および預金	8,760		14,265		
受取手形及び売掛金	24,655		26,756		
有価証券	3,010		111		
棚卸資産	10,152		13,767		
その他流動資産	5,202		4,514		
<b>固定資産</b>	<b>57,452</b>	<b>52.6%</b>	<b>61,627</b>	<b>50.9%</b>	<b>4,175</b>
有形固定資産	16,997		21,363		
無形固定資産	5,571		5,708		
投資その他	34,883		34,555		
<b>流動負債</b>	<b>11,220</b>	<b>10.3%</b>	<b>18,196</b>	<b>15.0%</b>	<b>6,976</b>
支払手形及び買掛金	5,827		6,590		
その他流動負債	5,392		11,606		
<b>固定負債</b>	<b>7,470</b>	<b>6.8%</b>	<b>7,478</b>	<b>6.2%</b>	<b>8</b>
<b>負債合計</b>	<b>18,690</b>	<b>17.1%</b>	<b>25,675</b>	<b>21.2%</b>	<b>6,984</b>
資本金	4,317	3.9%	4,317	3.6%	
資本剰余金	949	0.9%	949	0.8%	
利益剰余金	105,294	96.4%	88,260	72.9%	
その他有価証券評価差額金	713	0.7%	1,182	1.0%	
為替換算調整勘定	▲6	▲0.0%	42	0.0%	
自己株式	▲20,724	▲19.0%	-	-	
<b>資本合計</b>	<b>90,544</b>	<b>82.9%</b>	<b>94,752</b>	<b>78.3%</b>	<b>4,207</b>
<b>総資産合計</b>	<b>109,234</b>	<b>100.0%</b>	<b>121,044</b>	<b>100.0%</b>	<b>11,809</b>

## <当期のポイント>

### ■ 流動資産：7,633百万円増

- ・現金、預金の増加 (5,505百万円増)
- ・受取手形、売掛金の増加 (2,100百万円増)
- ・有価証券の減少 (2,899百万円減)
- ・棚卸資産の増加 (3,615百万円増)

### ■ 固定資産：4,175百万円増

- ・有形固定資産の増加 (4,366百万円増)
- ・無形固定資産の増加 (137百万円増)
- ・投資その他の減少 (327百万円減)

### ■ 流動負債：6,976百万円増

- ・未払法人税等の増加 (2,390百万円増)

# 貸借対照表の概要：杏林製薬単体

(単位：百万円)

<当期のポイント>

	05年3月期		06年3月期		
	実績	構成比	実績	構成比	前期末増減
<b>流動資産</b>	<b>49,096</b>	<b>46.2%</b>	<b>50,721</b>	<b>45.3%</b>	<b>1,624</b>
現金および預金	6,823		10,754		
受取手形	251		0		
売掛金	23,955		23,862		
有価証券	2,899		0		
棚卸資産	10,181		12,108		
その他流動資産	4,986		3,995		
<b>固定資産</b>	<b>57,168</b>	<b>53.8%</b>	<b>61,256</b>	<b>54.7%</b>	<b>4,088</b>
有形固定資産	16,623		18,636		
無形固定資産	5,569		4,552		
投資その他	34,975		38,068		
<b>流動負債</b>	<b>10,082</b>	<b>9.5%</b>	<b>13,677</b>	<b>12.2%</b>	<b>3,595</b>
支払手形	1,236		1,224		
買掛金	4,083		2,803		
その他流動負債	4,762		9,649		
<b>固定負債</b>	<b>7,342</b>	<b>6.9%</b>	<b>5,774</b>	<b>5.2%</b>	<b>▲1,567</b>
<b>負債合計</b>	<b>17,425</b>	<b>16.4%</b>	<b>19,452</b>	<b>17.4%</b>	<b>2,027</b>
資本金	4,317	4.1%	4,317	3.9%	
資本剰余金	949	0.9%	949	0.8%	
利益剰余金	103,625	97.5%	86,189	77.0%	
その他有価証券評価差額金	667	0.6%	1,068	0.9%	
自己株式	▲20,720	▲19.5%	-	-	
<b>資本合計</b>	<b>88,839</b>	<b>83.6%</b>	<b>92,525</b>	<b>82.6%</b>	<b>3,685</b>
<b>総資産合計</b>	<b>106,264</b>	<b>100.0%</b>	<b>111,978</b>	<b>100.0%</b>	<b>5,713</b>

## ■流動資産：1,624百万円増

- ・現金、預金の増加 (3,931百万円増)
- ・有価証券の減少 (2,899百万円減)
- ・棚卸資産の増加 (1,927百万円増)
- ・その他流動資産の減少 (990百万円減)

## ■固定資産：4,088百万円増

- ・有形固定資産の増加 (2,012百万円増)
- ・無形固定資産の減少 (1,016百万円減)
- ・投資その他の増加 (3,092百万円増)

## ■流動負債：3,595百万円増

- ・買掛金の減少 (1,279百万円減)
- ・その他流動負債の増加 (4,887百万円増)

## ■固定負債：1,567百万円減

- ・退職給付引当金の増加 (325百万円増)
- ・退職給付制度移行時未払金の減少 (1,870百万円減)

# 研究開発費・設備投資・減価償却費の状況<連結>

(単位:百万円)

	02年3月期	03年3月期	04年3月期	05年3月期	06年3月期		07年3月期 (見込み)
					実績	増減比	
研究開発費	6,031	7,009	8,219	12,698	10,107	▲20.4%	10,200
設備投資(計上ベース)	2,507	3,301	5,670	6,172	4,605	▲25.4%	3,400
減価償却費	3,213	3,637	4,774	3,894	3,646	▲6.4%	4,700

## <設備投資の状況(実績/計画)>

(実績)

能代新製剤工場建設投資、その他生産設備(各工場)

管理・販売設備

研究用設備

06年3月期実績

36億円

3億円

7億円

07年3月期計画

(計画)

能代工場関連投資、その他生産設備(各工場)

管理・販売設備

研究用設備

28億円

3億円

3億円

# 主要製品売上の状況

(単位:億円)



	02年3月期	03年3月期	04年3月期	05年3月期	06年3月期		07年3月期 (見込み)	
					実績	前 同 比		
国内新医薬品	キプレス (ロイコトリエン受容体拮抗剤)	31	64	98	118	134	13.6%	142
	ガチフロ(自社販売) (合成抗菌剤)	—	47	17	23	25	9.3%	30
	ムコダイン (去痰剤)	175	171	180	190	199	4.7%	209
	バクシダール (合成抗菌剤)	17	12	9	7	6	▲13.6%	5
	ケタス (気管支喘息・脳血管障害治療剤)	75	70	70	66	63	▲4.9%	62
	アプレース (抗潰瘍剤)	43	34	29	26	24	▲9.9%	20
	ロカルトロール (骨粗鬆症治療剤)	38	30	27	24	22	▲7.8%	19
	ペンタサ (潰瘍性大腸炎・クローン病治療剤)	45	53	60	64	73	13.8%	79
海外新医薬品	海外売上合計	121	90	85	88	86	▲ 3.0%	49
	ガチフロキサシン (バルク・ロイヤルティ含む)	98	51	71	80	67	▲16.0%	25
	ノルフロキサシン (バルク・ロイヤルティ含む)	18	15	11	4	3	▲27.4%	3
	海外売上比率	19.4%	13.2%	13.1%	13.3%	11.6%	—	6.5%
ヘルスケア	ミルトン (哺乳ビン・乳首消毒剤)	29	30	27	23	21	▲10.1%	22
自社品比率		82.2%	85.0%	81.6%	80.5%	72.5%	—	68.6%

# 主な業績項目の推移: 連結

	02年3月期	03年3月期	04年3月期	05年3月期	06年3月期	07年3月期 (見込み)
売上高 (輸出高)	62,395 (12,127)	68,618 (9,024)	65,061 (8,533)	66,296 (8,838)	74,054 (8,575)	75,600 (4,900)
売上原価 (売上原価率)%	19,336 (31.0%)	21,205 (30.9%)	22,389 (34.4%)	22,682 (34.2%)	26,515 (35.8%)	
販売費及び一般管理費 (販管费率)%	31,101 (49.8%)	35,045 (51.1%)	33,905 (52.1%)	37,747 (57.0%)	38,549 (52.1%)	
研究開発費 (研究開発费率)%	6,031 (9.7%)	7,009 (10.2%)	8,219 (12.6%)	12,698 (19.2%)	10,107 (13.6%)	10,200 (13.5%)
営業利益 (営業利益率)%	11,957 (19.2%)	12,367 (18.0%)	8,766 (13.5%)	5,866 (8.8%)	8,989 (12.1%)	5,700 (7.5%)
経常利益 (経常利益率)%	12,210 (19.6%)	12,805 (18.6%)	8,597 (13.2%)	6,430 (9.7%)	9,465 (12.8%)	6,400 (8.5%)
当期純利益 (当期純利益率)%	4,117 (6.6%)	4,120 (6.0%)	5,692 (8.7%)	2,013 (3.1%)	5,228 (7.1%)	3,500 (4.6%)
一株当たり当期純利益(円)	60.55円	47.21円	68.76円	26.48円	69.74円	47.07円
資本金	4,317	4,317	4,317	4,317	4,317	700
総資産	134,472	139,961	121,355	109,234	121,044	
株主資本	102,356	105,318	91,856	90,544	94,752	
一株当たり株主資本(円)	1,187.30円	1,222.61円	1,234.80円	1,218.22円	1,275.15円	
株主資本利益率%	4.1%	4.0%	5.8%	2.2%	5.6%	
株主資本比率%	76.1%	75.2%	75.7%	82.9%	78.3%	
人員	1,731人	1,719人	1,652人	1,703人	1,823人	
設備投資	2,507	3,301	5,670	6,172	4,605	3,400
減価償却費	3,213	3,637	4,774	3,894	3,646	4,700

\* 02年3月期から06年3月期までの業績は杏林製薬の数値、2007年3月期業績の見込みは株式会社キョーリンの数値を示す

# 主な業績項目の推移: 杏林製薬単体

(単位:百万円)

	02年3月期	03年3月期	04年3月期	05年3月期	06年3月期	07年3月期 (見込み)
売上高 (輸出高)	61,131 (12,127)	67,293 (9,024)	63,589 (8,533)	64,938 (8,838)	67,357 (8,331)	64,500 (4,600)
売上原価 (売上原価率)%	18,376 (30.1%)	20,230 (30.1%)	21,273 (33.5%)	21,653 (33.3%)	21,821 (32.4%)	
販売費及び一般管理費 (販管费率)%	30,889 (50.5%)	34,698 (51.6%)	33,515 (52.7%)	37,373 (57.6%)	36,762 (54.6%)	
研究開発費 (研究開発费率)%	6,031 (9.9%)	7,009 (10.4%)	8,219 (12.9%)	12,698 (19.6%)	10,013 (14.9%)	9,800 (15.2%)
営業利益 (営業利益率)%	11,865 (19.4%)	12,364 (18.3%)	8,799 (13.8%)	5,911 (9.1%)	8,773 (13.0%)	5,400 (8.4%)
経常利益 (経常利益率)%	11,816 (19.3%)	12,241 (18.1%)	8,376 (13.2%)	5,723 (8.8%)	8,377 (12.4%)	5,800 (9.0%)
当期純利益 (当期純利益率)%	3,785 (6.2%)	3,633 (5.3%)	5,512 (8.7%)	1,615 (2.5%)	4,771 (7.0%)	3,100 (4.8%)
一株当たり当期純利益(円)	55.67円	41.63円	66.59円	21.19円	63.64円	41.74円
資本金	4,317	4,317	4,317	4,317	4,317	4,317
総資産	133,427	138,484	119,604	106,264	111,978	
株主資本	101,703	104,191	90,543	88,839	92,525	
一株当たり株主資本(円)	1,179.73円	1,209.54円	1,217.09円	1,195.26円	1,245.22円	
株主資本利益率%	3.8%	3.5%	5.7%	1.8%	5.3%	
株主資本比率%	76.2%	75.2%	75.7%	83.6%	82.6%	
人員	1,671人	1,658人	1,597人	1,619人	1,502人	
設備投資	2,507	3,301	5,668	6,171	4,455	1,800
減価償却費	3,207	3,626	4,763	3,883	3,307	4,300

# 損益計算書の概要：株式会社キョーリン単体

(単位：百万円)

	05年6月期		06年3月期	
	実績	売上比	実績	売上比
売上高	83	100.0%	-	-
営業収益	-	-	366	100.0%
売上原価	69	82.5%	-	-
売上総利益	14	17.5%	-	-
販売費及び一般管理費	89	106.9%	-	-
営業費用	-	-	223	61.1%
営業利益	▲75	▲89.4%	142	38.9%
営業外収益	284	338.5%	2	0.6%
営業外費用	36	43.5%	139	38.1%
経常利益	172	205.6%	4	1.4%
特別利益	0	0.3%	20	5.7%
特別損失	-	-	3	1.1%
税金等調整前 当期純利益	172	205.9%	21	6.0%
法人税・住民税 及び事業税	3	3.7%	1	0.5%
法人税等調整額	▲86	▲103.5%	1	0.5%
当期純利益	259	309.4%	20	5.5%

\* 株式会社キョーリンの連結財務諸表は完全子会社である杏林製薬株式会社を2006年3月末日に取得したものとして作成しております。従って、2006年3月期では損益を取り込むべき子会社・関連会社が無いため開示すべき連結業績はございません。

\* 当事業年度は決算期変更により、9ヶ月決算となりましたので、対前期比較は行っておりません。



# 貸借対照表の概要：株式会社キョーリン単体

(単位:百万円)

	05年6月期		06年3月期		
	実績	構成比	実績	構成比	前期末増減
<b>流動資産</b>	<b>183</b>	<b>5.9%</b>	<b>365</b>	<b>0.5%</b>	<b>182</b>
現金および預金	64		327		
有価証券	102		-		
前払費用	-		28		
その他流動資産	16		10		
<b>固定資産</b>	<b>2,943</b>	<b>94.1%</b>	<b>80,161</b>	<b>99.5%</b>	<b>77,218</b>
投資その他	2,943		80,161		
<b>流動負債</b>	<b>140</b>	<b>4.5%</b>	<b>191</b>	<b>0.2%</b>	<b>50</b>
短期借入金	126		-		
未払金	12		173		
その他流動負債	2		17		
<b>固定負債</b>	<b>1,172</b>	<b>37.5%</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>▲1,172</b>
<b>負債合計</b>	<b>1,313</b>	<b>42.0%</b>	<b>191</b>	<b>0.2%</b>	<b>▲1,122</b>
資本金	13	0.5%	700	0.9%	
資本剰余金	488	15.6%	78,420	97.4%	
利益剰余金	1,309	41.9%	1,220	1.5%	
その他有価証券評価差額金	1	0.0%	-	-	
自己株式	-	-	▲4	▲0.0%	
<b>資本合計</b>	<b>1,813</b>	<b>58.0%</b>	<b>80,336</b>	<b>99.8%</b>	<b>78,523</b>
<b>総資産合計</b>	<b>3,126</b>	<b>100.0%</b>	<b>80,527</b>	<b>100.0%</b>	<b>77,400</b>

# 貸借対照表の概要：株式会社キョーリン連結

(単位：百万円)

	06年3月期	
	実績	売上比
<b>流動資産</b>	<b>59,719</b>	<b>49.2%</b>
現金および預金	14,593	
受取手形及び売掛金	26,752	
有価証券	111	
棚卸資産	13,767	
その他流動資産	4,493	
<b>固定資産</b>	<b>61,634</b>	<b>50.8%</b>
有形固定資産	21,363	
無形固定資産	5,720	
投資その他	34,550	
<b>流動負債</b>	<b>18,367</b>	<b>15.1%</b>
支払手形及び買掛金	6,590	
その他流動負債	11,777	
<b>固定負債</b>	<b>7,478</b>	<b>6.2%</b>
<b>負債合計</b>	<b>25,845</b>	<b>21.3%</b>
資本金	700	0.6%
資本剰余金	4,761	3.9%
利益剰余金	88,256	72.7%
その他有価証券評価差額金	1,181	1.0%
為替換算調整勘定	42	0.0%
自己株式	▲50	▲0.0%
<b>資本合計</b>	<b>94,891</b>	<b>78.2%</b>
<b>総資産合計</b>	<b>121,353</b>	<b>100.0%</b>

# 参考資料：主な子会社の業績と見込み

単位：億円

杏林製薬	06年3月期	07年3月期(見込み)
売上高	674	645
営業利益	88	54
当期純利益	48	31

東洋ファルマー	06年1月期(8ヶ月分)	07年1月期(見込み)
売上高	44	72
営業利益	3	2
当期純利益	2	1

ドクタープログラム	06年1月期(7ヶ月分)	07年1月期(見込み)
売上高	8	21
営業利益	0	1
当期純利益	0	0